

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【公表番号】特表2002-507900(P2002-507900A)

【公表日】平成14年3月12日(2002.3.12)

【出願番号】特願平11-503795

【国際特許分類第7版】

A 4 7 C 9/00

A 4 7 C 3/02

A 4 7 C 7/14

A 4 7 C 7/34

A 4 7 C 7/46

【F I】

A 4 7 C 9/00

A 4 7 C 3/02

A 4 7 C 7/14 C

A 4 7 C 7/34 A

A 4 7 C 7/34 Z

A 4 7 C 7/46

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月23日(2005.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

通

手続補正書

平成17年03月23日

特許庁長官 小川 洋 殿

1. 事件の表示

特願平 11-503795号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 バイエリッシェ モートーレン ウエルケ
アクチエンゲゼルシャフト

3. 代理人

住所 東京都新宿区四谷4丁目25番5号

KDビル5階 〒160-0004 TEL 03-3350-4841

氏名 弁理士 (9186) 藤田アキラ



4. 補正の対象書類名 (1) 請求の範囲

5. 補正の対象項目名 (1) 請求の範囲

6. 補正の内容 別紙の通り

別紙

「

請求の範囲

1. シートクッション (1 , 1 1 , 2 1 , 3 1 0) と、少なくとも 1 つの位置調整要素 (6 , 1 6 , 2 6 , 3 1 1 a ないし 3 1 1 d , 3 3 1 a ないし 3 3 1 d) を有し、着座している人間の骨盤をシートクッション (1 , 1 1 , 2 1 , 3 1 0) の縦中心面 (7 , 2 0 7) および（または）横軸線のまわりに傾動運動させる装置とを備え、位置調整要素 (6 , 1 6 , 2 6 , 3 1 1 a ないし 3 1 1 d , 3 3 1 a ないし 3 3 1 d) がシートクッション (1 , 1 1 , 2 1 , 3 1 0) の右側または左側領域或いは前部または後部領域にそれぞれ少なくとも 1 つ設けられている座席において、

位置調整要素 (6 , 1 6 , 2 6 , 3 1 1 a ないし 3 1 1 d , 3 3 1 a ないし 3 3 1 d) が対を成して互いに付設され、且つ着座している人間を上下動させることがなく下部位置 (U) と上部位置 (O) の間で互いに逆方向へ位置調整運動を実施可能であるように構成されていることを特徴とする座席。

2. シートクッションが支持構造部とクッション部とを備えている、請求項 1 に記載の座席において、

位置調整要素 (6) がシートクッション (1) の支持構造部 (2) の外側に配置されていることを特

- 徴とする座席。
3. シートクッションが支持構造部とクッション部とを備えている、請求項1に記載の座席において、位置調整要素(16)が支持構造部(12)とクッション部(13)の間に配置されていることを特徴とする座席。
4. シートクッションが支持構造部とクッション部とを備えている、請求項1に記載の座席において、位置調整要素(26)がクッション部(23)内に配置されていることを特徴とする座席。
5. 位置調整要素が袋、ローリングベローズ、またはこれらに類似したものとして実施され、液状媒体またはガス状媒体で作動することを特徴とする、請求項1から4までのいずれか一つに記載の座席。
6. 位置調整要素用の前記媒体が、容積可変な2つの作業室に供給され、作業室の容積を駆動装置により可変であることを特徴とする、請求項5に記載の座席。
7. 作業室(42, 43)が、移動可能なピストン(44)を備えた複動シリンダ(40)により形成されることを特徴とする、請求項6に記載の座席。
8. 作業室(62, 63; 72, 73)が可撓性の壁を有し、これらの壁に移動可能な要素または回動可能な要素が作用することを特徴とする、請求項6に記載の座席。
9. 前記媒体が、圧力媒体ポンプ(80)により直接位

置調整要素（8 6 a, 8 6 b）間を往復せしめられることを特徴とする、請求項 5 に記載の座席。

1 0 . 壓力媒体ポンプとして羽根形回転ポンプ（8 0）が設けられていることを特徴とする、請求項 9 に記載の座席。

1 1 . シートクッション（3 1 0）の右側または左側領域或いは前部または後部領域にそれぞれ、調整方向に見て重設された少なくとも 2 つの位置調整要素（3 1 1 a, 3 1 1 b または 3 1 1 c, 3 1 1 d; 3 3 1 a, 3 3 1 b または 3 3 1 c, 3 3 1 d）が設けられていることを特徴とする、請求項 1 から 1 0 までのいずれか一つに記載の座席。

1 2 . 位置調整要素（3 0 1; 3 1 1 a, 3 1 1 b または 3 1 1 c, 3 1 1 d; 3 3 1 a, 3 3 1 b または 3 3 1 c, 3 3 1 d）がガス状媒体で付勢され、且つ調整距離（s）を制限する装置（3 0 6）を有し、調整距離（s）を制限する装置（3 0 6）が、位置調整要素（3 0 1; 3 1 1 a, 3 1 1 b または 3 1 1 c, 3 1 1 d; 3 3 1 a, 3 3 1 b または 3 3 1 c, 3 3 1 d）内の圧力（p）とは独立に作用することを特徴とする、請求項 1 1 に記載の座席。

1 3 . 調整距離（s）を制限する装置（3 0 6）が少なくとも 1 つの仕切り壁、バンド、細条板またはこれらに類似したものによって形成され、位置調整要素（3 0 1）の内部で、前記調整方向に見て対向して

いる位置調整要素壁領域(304, 305)を互いに結合させていることを特徴とする、請求項12に記載の座席。

14. シートクッションの右側または左側領域或いは前部または後部領域の位置調整要素(86a, 86b)の間に、位置調整要素(86a, 86b)間の媒体の交換を阻止する遮断弁(89)が設けられていることを特徴とする、請求項1から13までのいずれか一つに記載の座席。

15. 位置調整要素が、調整力(F)をもたらすレバー(101)を有していることを特徴とする、請求項1から14までのいずれか一つに記載の座席。

16. 位置調整要素が、スピンドル駆動装置(91, 92)を有していることを特徴とする、請求項1から15までのいずれか一つに記載の座席。

17. 位置調整要素が、偏心駆動装置を有していることを特徴とする、請求項1から16までのいずれか一つに記載の座席。

18. 位置調整要素が、はさみ状の往復棒を有していることを特徴とする、請求項1から17までのいずれか一つに記載の座席。

19. 位置調整要素が、互いに相対的に可動なくさび状要素を有していることを特徴とする、請求項1から18までのいずれか一つに記載の座席。

20. シートクッション(201)と、少なくとも1つ

の位置調整要素（206）を有し、着座している人間の骨盤をシートクッションの縦中心面（207）および（または）横軸線のまわりに傾動運動させる装置とを備えた座席において、

傾動運動させる前記装置が、シートクッション（201）の片側またはシートクッション（201）の懸架部の片側に係合する位置調整要素（206）によって形成され、位置調整要素（206）は、互いに対向している2つの支持点のうち一方の支持点（210）は、位置調整要素（206）により距離の作用を受けたときに、第3の支持点（211）を含む鉛直面内にある縦中心面（207）または横軸線のまわりに傾動可能であることを特徴とする座席。

21. シートクッションと、少なくとも1つの位置調整要素を有し、着座している人間の骨盤をシートクッションの縦中心面および（または）横軸線のまわりに傾動運動させる装置とを備えた座席を制御する方法において、

シートクッションの右側または左側領域或いは前部または後部領域にそれぞれ位置調整要素（86a, 86b）を設け、その際
一位置調整要素（86a, 86b）を対を成すよう
に互いに付設させ、
一両位置調整要素（86a, 86b）の間に流動媒

体をポンプ（80）で供給し、

—これにより両位置調整要素（86a, 86b）を、
下部位置（L）と中央位置（M）と上部位置（V）
との間で互いに逆方向へ調整運動させ、
—作動中に検出した可変なポンプ特性値（N12,
N21）であって位置調整要素（86a, 86b）
の完全充填状態に対応する前記ポンプ特性値（N1
2, N21）と不変のファクタ（F12, F21）と
の乗積により検出される制御量でポンプ（80）を
制御して中央位置（M）へ到達させることを特徴と
する方法。

22. シートクッションと、少なくとも1つの位置調整
要素を有し、着座している人間の骨盤をシートクッ
ションの縦中心面および（または）横軸線のまわり
に傾動運動させる装置とを備えた座席を制御する
方法において、

シートクッションの右側または左側領域或いは
前部または後部領域にそれぞれ、調整方向に見て重
設された2つの位置調整要素（311a, 311b
または311c, 311d; 331a, 331bまたは
331c, 331d）を設け、その際
—位置調整要素（311a, 311bまたは311
c, 311d; 331a, 331bまたは331c,
331d）を対を成して互いに付設させ、
—ポンプ（322; 332）により位置調整要素（3

1 1 a , 3 1 1 b または 3 1 1 c , 3 1 1 d ; 3 3 1 a , 3 3 1 b または 3 3 1 c , 3 3 1 d) を媒体で付勢し、

—重設された2つの位置調整要素 (3 1 1 a , 3 1 1 b または 3 1 1 c , 3 1 1 d ; 3 3 1 a , 3 3 1 b または 3 3 1 c , 3 3 1 d) が完全に空の状態から出発して、まず第1の位置調整要素を、次に第2の位置調整要素を完全に充填し、それぞれ他方の重設された位置調整要素 (3 1 1 c , 3 1 1 d または 3 1 1 a , 3 1 1 b ; 3 3 1 c , 3 3 1 d または 3 3 1 a , 3 3 1 b) を逆方向に連続させることを特徴とする方法。」